



ひろげよう緑の文化  
第36回全国植樹祭

# 第36回 全国植樹祭開催



▲みどりの少年団の入場行進

五月十二日、五月晴れの「阿蘇み  
んなの森」で開催された第三十六回  
全国植樹祭は、天皇陛下のご臨席の  
もと盛大にとり行われました。国土  
緑化功労者な  
どの表彰のあ  
と、お  
手植え  
、お  
お手ま  
まきの行事があり、  
徳川宗敬国土緑化推進委員会理事長

▲おことばを述べられる天皇陛下



▲記念切手の贈呈

の先導によりお手植え所にお立ちに  
なった陛下は、スギの苗木二本を、  
森の字にあやかっけて三角形に植樹さ  
れ、引き続きいてクスノキの種子を  
お手まきになりました。  
緑の少年団、内牧小学校児童によ  
る鼓隊、そして県下の中・高生によ  
る混成のバンドとコーラス、多くの  
人々のひたむきな姿は、さわやかな  
印象を与え、参加した一万二千人全  
員による記念植樹により、「豊かな緑  
を次の世代に」という願いを込めて  
「緑の式典」の幕が閉じられました。  
なお、県下九十六市町村、一百二  
十五か所でも、緑への思いを込めて、  
同時に記念植樹がありました。  
この全国植樹祭をきっかけに、緑  
の文化を、熊本のあちこちに広め、  
世界に向けて発信したいものです。



▲内牧小学校鼓隊による演技



▲杉の苗木をお手植えされる陛下



▲河崎・阿蘇町町長の介添でお手まきされる陛下

さわやかに鳴り響いた  
緑のシンフォニー。



▲大会旗を手に掲揚台へ向うみどりの少年団



▲林業後継者の介添でお手植えされる陛下



▲代表者による記念播種



▲坂田衆議院議長の音頭による万歳三唱



誓いのことばを述べる「みどりの少年団」▶



▲'85国際森林年を記念して「くろがねもち」を環境庁長官から受け取る青少年代表



▲アメリカ・モンタナ州代表からボンデローザ松の種子贈呈



▲ブラジル連邦共和国代表からブラジルアラウカリアの種子贈呈



▲郷土芸能「阿蘇の虎舞」披露



▲熱演する地元虎舞保存会の人々